資料２

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金） KPI一覧

【ソフト事業】

女性・若者雇用創出プロジェクト

				現状値	R7
KPI①	地域の転出入者数（転入者数－転出者数）（人）	実績値	目標（KPI）	-33	-22
			実績	－	-37
			差分	－	-15
			達成率	－	32%
KPI②	市内高校卒業生の市内企業就職者数（人）	実績値	目標（KPI）	18	20
			実績	－	12
			差分	－	-8
			達成率	－	60%
KPI③	女性のキャリアサポート事業の延べ参加者数（人）	実績値	目標（KPI）	－	15
			実績	－	21
			差分	－	6
			達成率	－	140%
KPI④	女性向け就労イベントの延べ参加者数（人）	実績値	目標（KPI）	－	40
			実績	－	86
			差分	－	46
			達成率	－	215%
KPI⑤	女性向け就労イベントの延べ参加企業数（社）	実績値	目標（KPI）	－	10
			実績	－	12
			差分	－	2
			達成率	－	120%
KPI⑥	就業支援デジタルブックの延べ閲覧数（回）	実績値	目標（KPI）	－	300
			実績	－	491
			差分		191
			達成率	－	164%

※KPI①②の現状値は令和6年度の実績値

地域未来交付金（地域未来推進型）
効果検証シート（R７実績分）

事業名	女性・若者雇用創出プロジェクト
事業概要	労働力の中核である生産年齢人口の減少と女性や若者の転出に歯止めをかけるとともに、市外からの流入増加のため、雇用機会の創出と定着促進を図る。女性の潜在的な就労意欲を引き出す支援と、若年層への市内企業情報の提供を強化し、市内での就業を促進する。具体的には、女性向けのマッチング支援や職場体験、若者向けの情報発信のデジタル化を推進する。
事業内容	1. 女性の就業サポート事業 ⑴女性のキャリアサポート事業 仕事に必要な能力や自信を身につけるためのデジタルスキル研修やキャリアコンサルティングを実施する。あわせて市内企業での実地業務体験を行うことで、職場への先入観を払拭し、求職者が抱く不安を解消する。 ⑵女性向け就労イベント開催事業 仕事と家庭の両立を見据えた働き方のイメージ醸成と、企業と求職者の円滑なマッチングを推進するため、企業と直接対話できる就職フェアや意見交換会を実施する。イベントでは、個別相談ブースやワークショップ等を併設することで、参加者を多方面からサポートする。 2. 若者の就業サポート事業 ⑴市内企業就職サポート事業 若者の市内定着と将来的なUターンを見据え、市内企業の魅力を対象者に届けるための環境整備を行う。具体的には、市内高校と企業との情報交換会や、生徒向けの企業見学会を開催し、学生が早い段階から地元で働くことを具体的にイメージできる場を創出する。また、既存の企業紹介媒体をスマホやタブレットで閲覧可能な「就業支援デジタルブック」へ展開し、SNSやチラシを活用した積極的な周知を行うことで、デジタルブックの認知度を高める。これにより、情報へのアクセス性を向上させ、若者がいつでも・どこでも企業の詳細を知ることができる環境を整え、市内企業への関心向上と就職意欲の喚起を図る。

KPI①	地域の転出入者数（転入者数－転出者数）（人）
KPI②	市内高校卒業生の市内企業就職者数（人）
KPI③	女性のキャリアサポート事業の延べ参加者数（人）
KPI④	女性向け就労イベントの延べ参加者数（人）
KPI⑤	女性向け就労イベントの延べ参加企業数（社）
KPI⑥	就業支援デジタルブックの延べ閲覧数（回）

	事業開始前（現状値）	1年目 令和7年度	2年目 令和8年度	3年目 令和9年度	4年目 令和10年度	5年目 令和11年度	KPI増加分の累計
目標値（KPI①）	-33.00	11.00	11.00	11.00			33.00
目標値（KPI②）	18.00	2.00	2.00	2.00			6.00
目標値（KPI③）	0	15	15	15			45
目標値（KPI④）	0	40	45	50			135
目標値（KPI⑤）	0	10	15	20			45
目標値（KPI⑥）	0	300	500	700			1,500
実績値（KPI①）		-4.00					-4.00
実績値（KPI②）		-6.00					-6.00
実績値（KPI③）		21					21.00
実績値（KPI④）		86					86.00
実績値（KPI⑤）		12					12.00
実績値（KPI⑥）		491					491.00

予算額(円)	9,000,000	実績額(円)	4,170,000

施策の有効性	本事業を通じて、女性の就労支援および若年層の市内定着に向けた情報発信の基盤構築に一定の成果が得られた。特に、女性向けキャリアサポート事業や就労イベントでは、多くの求職者と企業を直接結びつける場を創出することができ、実際に就職に至るケースも確認された。また、デジタルブックの導入や高校・企業間のネットワーク構築により、若年層が地元企業の情報へアクセスする環境が整備されたことは、将来的な定着促進を図る上での重要なステップとなった。以上のことから、本施策は女性の社会参画促進および地域雇用の活性化に有効なアプローチであるため、今後も事業を継続する。
達成できなかった理由	KPI①およびKPI②が目標未達となった背景には、以下の構造的要因がある。 KPI①（転出入者数）に関しては、大学進学や広域的な就職活動等、個人のライフステージ選択に伴う市外流出が依然として多く、これは多くの若者が生活環境を理由に地元を離れたいと思う意識に起因するものであり、行政が直接的にアプローチすることができない。また、KPI②（高校生の地元就職）に関しても、同様に進学志向の強まりや生徒数の減少により、就職希望者の母数が減少していることに加え、市内在住生徒数の増減に左右される。これらの要因から、この２つの項目の数値に関しては即時的な効果が現れにくく、中長期的に事業を継続する必要がある。
今後の方針	本施策は、地域経済の担い手確保の観点から不可欠であるため、引き続き継続・拡充を図る。 今後は、単なるマッチング機会の提供にとどまらず、地元企業側の「受け入れ環境」の質的向上に注力する。具体的には、市内企業への働き方改革推進を支援し、ワーク・ライフ・バランスの確保や柔軟なキャリア形成が可能な環境を整備することで、企業自身の魅力を高める。これにより、若年層や女性にとって「地元で働くこと」がより具体的かつ魅力的な選択肢となるよう、企業側と求職者側の双方にアプローチする施策へと発展させる。